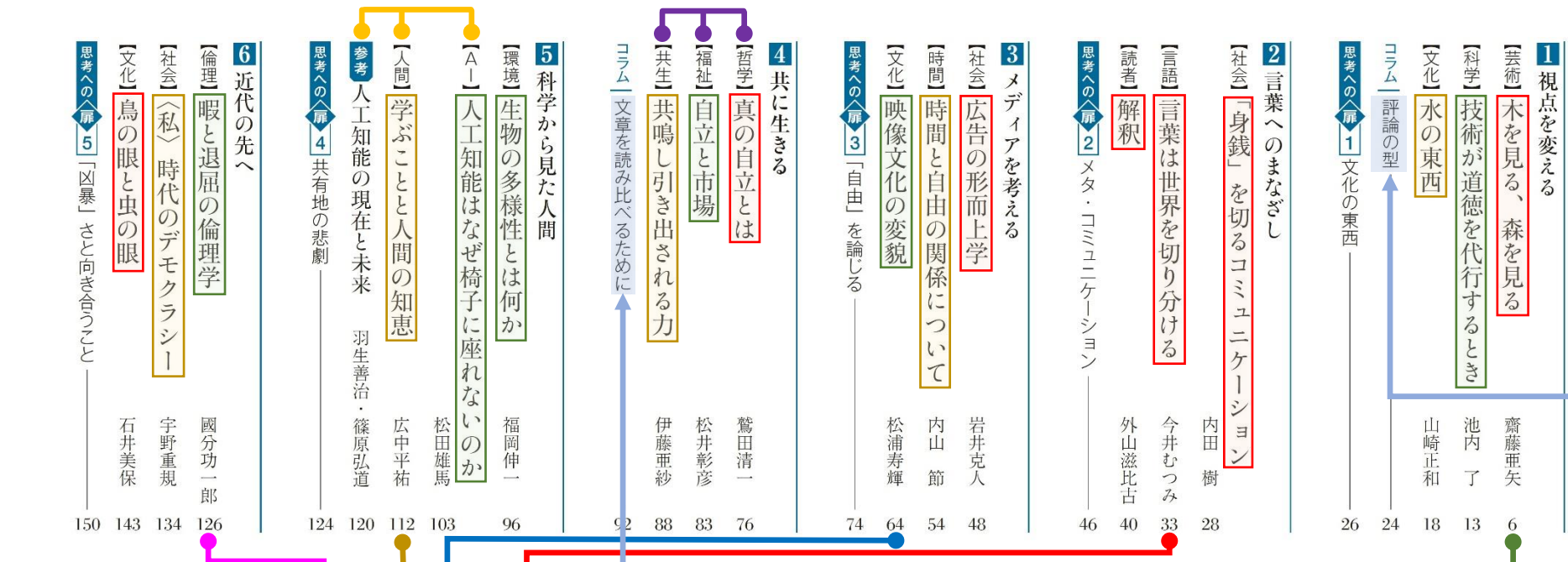


読解編



読み比べの扱い

1. 読み比べに適した評論教材に「関連教材」リンクを設置

(例) p. 88 p. 83 p. 76

「真の自立とは」(七六ページ) ← 「共鳴し引き出される力」(八八ページ) ← 「自立と市場」(八三ページ)

「真の自立とは」(七六ページ) ← 「共鳴し引き出される力」(八八ページ) ← 「自立と市場」(八三ページ)

※「関連教材」は ●●● で示す
指導資料には「関連教材」対応の「新傾向入試対応評価問題」を用意

2. 三角ロジックを用いた解説コラム
「文章を読み比べるために」

文章構造の扱い

1. 三つの文章構造に着目して教材を配列

- 因果関係 (理由結論の関係) **9教材** (本編 6 教材 + 附録 3 教材)
- 対比関係 (逆接・対立の関係) **5教材** (本編 5 教材 + 附録 0 教材)
- 同等関係 (イコールの関係) **9教材** (本編 7 教材 + 附録 2 教材)

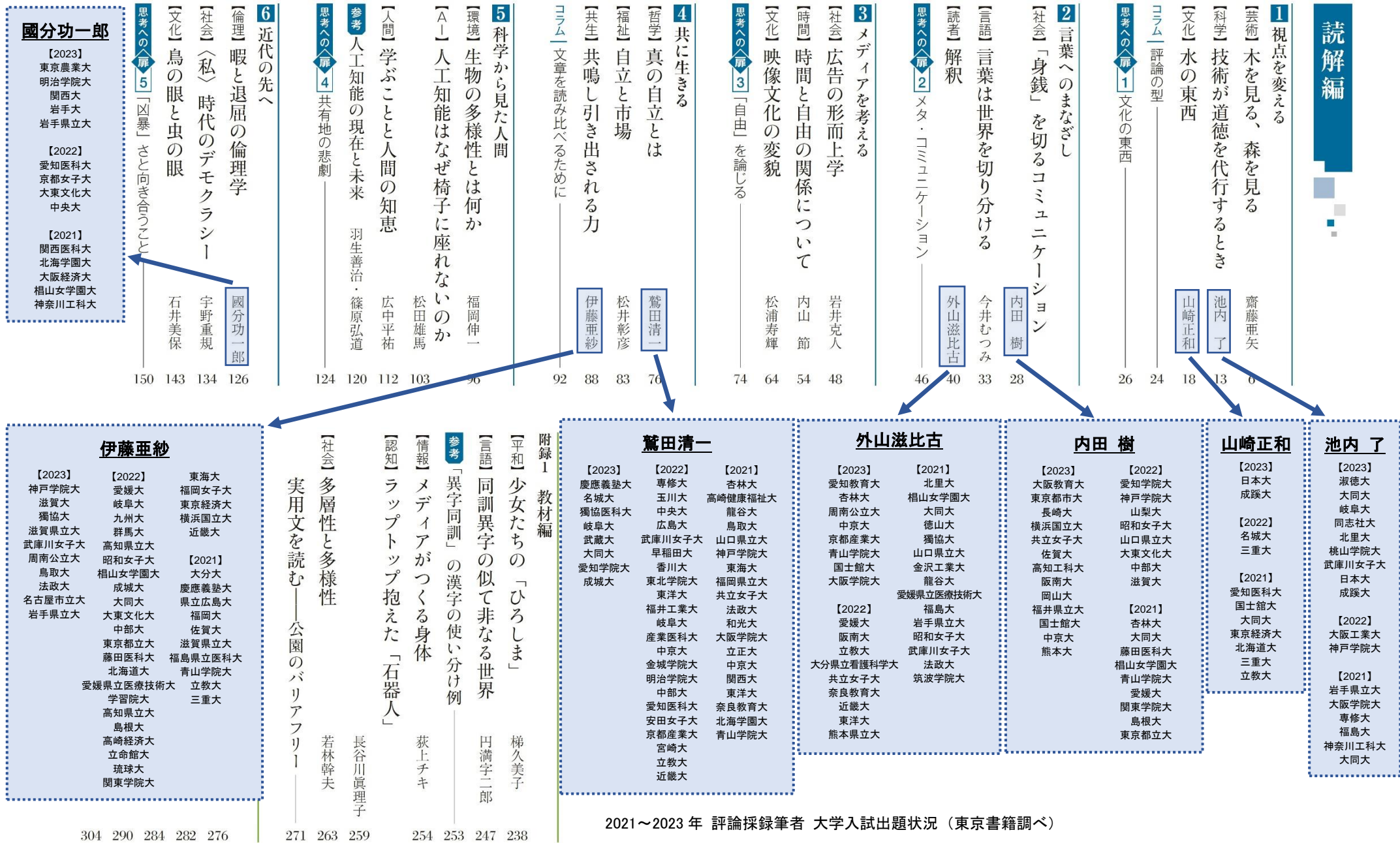
2. 文章構造をつかむコラム「評論の型」

3. 7種類の特徴的な表現を取り上げた「評論読解へのアプローチ」



東京書籍「現代の国語」における入試頻出筆者の扱い

読解編



※この資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。